

自閉症・発達障害の成因解明と 将来の治療に向けて

自閉症・発達障害の理解を深め、病態に基づいた治療法の可能性を探る取り組みをその成果を、患者さんご家族、医療関係者、研究者、行政の方々などと共有し、意見交換させていただきます。

日程

2017年1月7日（土）午後2時～5時

場所

東京女子医科大学外来センター5階 会議室

参加無料

事前登録制です。プログラムの詳細は、登録していただいた方にメールでご連絡差し上げます。

参加希望の方は、**2016年12月24日(土)**までにご氏名、ご所属、お立場（患者様ご関係の方、医療関係者、研究者、行政の方、など）をご記入のうえ、メールにてお申込み下さい。

送信先：tiims.cc@twmu.ac.jp

主催：「ゲノム構造異常によって発症した自閉症・発達障害の疾患特異的iPS細胞を用いた病態解明と治療法開発」研究班

研究代表者 東京女子医科大学統合医科学研究所
（附属遺伝子医療センター） 山本俊至
日本医療研究開発機構/難治性疾患実用化研究事業

お問い合わせ

東京女子医科大学研究支援部 tiims.cc@twmu.ac.jp